

学校の教育活動を支援するボランティアを活用して良かった点、得られた効果など(抜粋)

【公立中学校】

○安心・安全の確保

- ・地域の方々に見守られているという意識が生徒の安心感につながる。
- ・校外での活動において、安全管理の面で効果的だった。

○学校行事等の円滑な運営

- ・本校では「社会を明るくする運動」に継続して取り組んでいるが、ボランティア緒の協力を得ることによって、活動が計画的に進められている。
- ・体育祭や文化祭等の学校行事を運営する上で、ボランティアの協力体制は大きな部分を占めており、保護者、生徒、学校が一体となって1つの行事を作り上げることができている。

○学習の充実

- ・書道、伝統芸能等に関して効果的な指導となった。
- ・地域の伝統芸能の継承を教育活動に取り入れることができている。
- ・教師にはできないような専門的な助言や指導があるので、子供たちにとって大変有益である。
- ・部活動支援では技術面や体力面の向上はもちろんだが、基本的な生活習慣の確立に寄与している。

○学校理解

- ・ボランティア活動をしていただく中で、学校の方針や取組、生徒の様子を理解してもらうことができた。
- ・教職員と保護者、地域住民がともに活動することにより、説明責任を果たし、教育活動への理解を得ることにつながった。

○環境整備

- ・個人の技能ではできないことや範囲が広く人手が必要な場面においては、環境維持のためのボランティア活動はとても助かっている。
- ・生徒がボランティアとともに花壇などを整備することで、植物を大切にする心情や美化活動の重要性を学ぶことができた。
- ・学校花壇の整備や校舎雪囲い作業、図書館での本の補修作業では、本校職員だけでは手が足りないため、とても助かった。

○キャリア教育・郷土愛

- ・ボランティアの方との交流をとおして、生き方や勤労観について考えるよい機会となっている。
- ・地域の伝統を学校行事の中に組み込む取組が可能になっている。生徒達にとっては、地元ならではの伝統への理解や愛着につながっている。
- ・進路の講師としてボランティアを活用したが、身近な方の講話ということで、より現実的な進路選択の一助となった。

○教員の負担軽減

- ・教員が授業や生徒指導等により力を注ぐことができる。
- ・免許外強化の指導を専門知識のあるボランティアに補助してもらったり、行事での人手不足をカバーしてもらったり等、教員の負担軽減に効果があった。
- ・図書室の環境整備や放課後の生徒の学習室としての解放時にいてくださるので、教職員は自分の業務に専念することができた。

○学校・家庭・地域のつながりの深まり

- ・保護者や地域の方とコミュニケーションが取りやすくなったと同時に、学校と家庭
- ・地域で協力して子どもを育成することへの意識が高まってきた。
- ・地域の方の協力を得て学校が共に生徒達を育てることで、生徒は新たな気づきを得ているとともに、地域では学校の応援団が増えてきている。
- ・生徒、職員、保護者、地域住民が一堂に会することによって、学校を中心とした地域の一体感が生まれた。

○ボランティアのやりがい

- ・生徒と一緒に活動することによって、生徒の実態や関わり方を考えるよい機会となっている。
- ・生徒とのふれ合いをとおして、感動を覚え、自らの生きがいがいづくりにつながった。